

# 受信できるように設定する

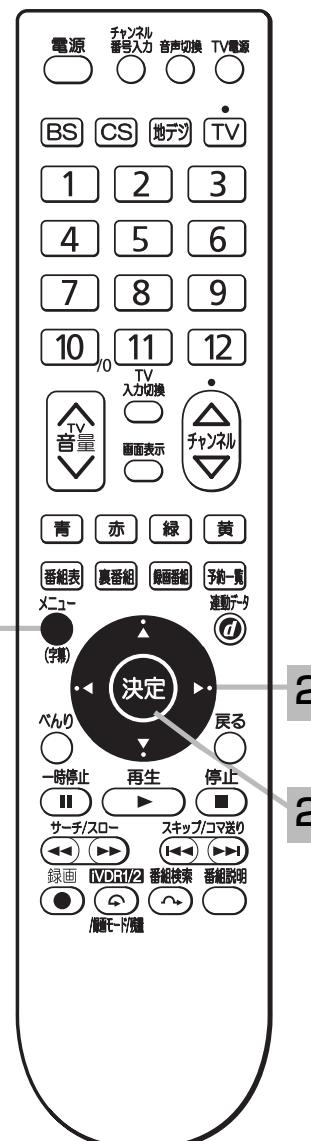
かんたんセットアップで基本的な設定は完了します。

さらに、不要なチャンネルをとばしたり、チャンネルを追加することもできます。

メニュー機能の使いかた	54
接続するテレビに合わせて設定する	56
電話回線を設定する	58
■ 回線種別を設定する	58
■ 内線発信を設定する	60
■ 番号通知を設定する	61
■ 優先解除を設定する	62
■ 電話会社を設定する	63
■ 待ち時間を設定する	64
ISP( プロバイダー ) を設定する	65
LAN を設定する	67
LAN 接続機器との接続確認をする	70
お住まいの地域に合わせて受信設定をする	71
■ 郵便番号を設定する	71
地上デジタル放送の受信設定	72
■ 地域名によるチャンネルの合わせかた	72
■ 地域名一覧表	74
■ マニュアルで CH ボタンの登録を変更する	76
■ チャンネルを飛び越し選局したいとき	77
■ 受信周波数変更を設定する	78
■ ダウンロード設定を変更する	79
BS・CS デジタル放送の受信設定	80
■ マニュアルで CH ボタンの登録を変更する	80
■ チャンネルを飛び越し選局したいとき	82
■ 受信設定を変更する	83
■ アンテナの設定を変更する	84
■ ダウンロード設定を変更する	85
iVDR を設定する	86
登録データや受信設定などを初期化したいとき	88

# メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。メニュー階層については（②操作編 112）をご覧ください。

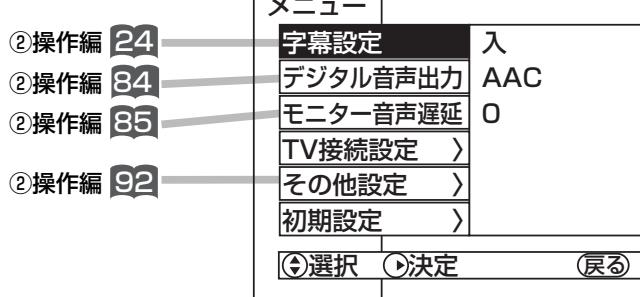


## 1 メニュー ボタンを押す

メニュー画面が現れます。

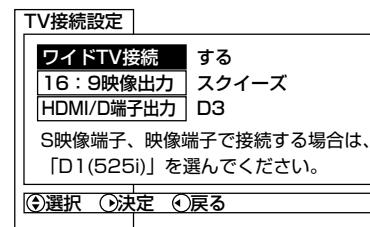
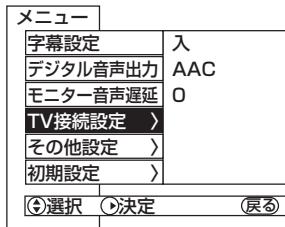


## 2 ◇で項目を選び、○または決定ボタンを押す



接続するテレビを設定したいときは

## ◇で「TV接続設定」を選び、○または決定ボタンを押す



56

## メモ

リモコンの戻るボタンについて

メニュー やべんり機能 8 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

参照ページマークについて

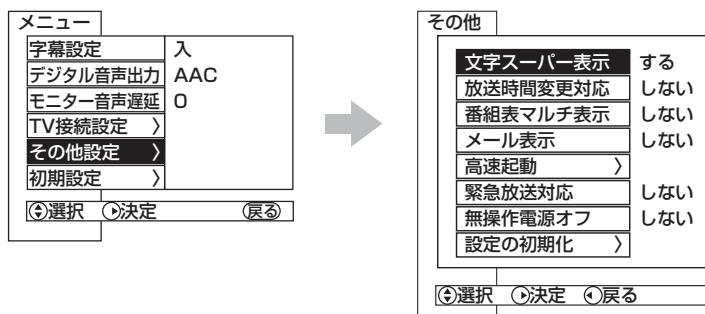
マークは、「① 準備編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「② 操作編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

2

高速起動などを設定したいときは

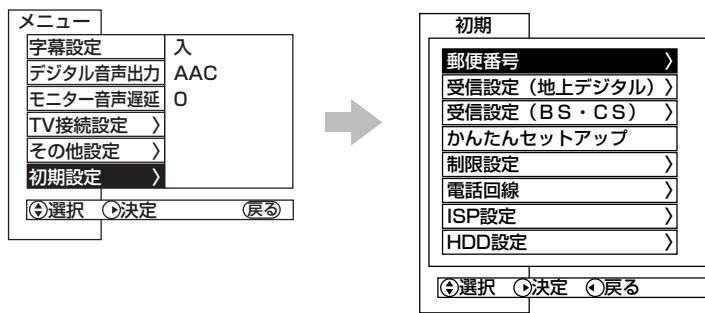
△で「その他設定」を選び、○または決定ボタンを押す



②操作編 92 など

受信設定などの設定したいときは

△で「初期設定」を選び、○または決定ボタンを押す



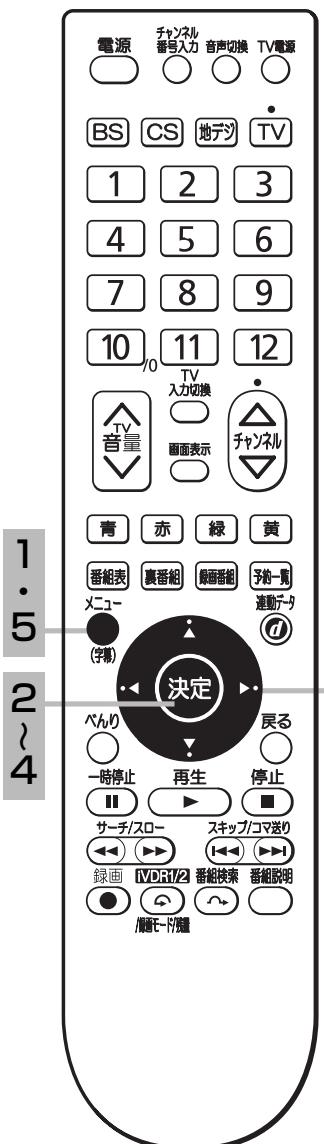
71 など

3 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す



# 接続するテレビに合わせて設定する

本機に接続するテレビの種類に応じて、テレビ画面の縦横比や接続端子などを設定します。



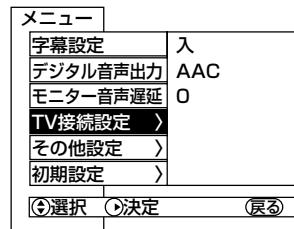
## 1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

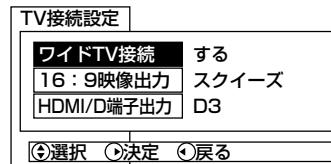


## 2 ○で「TV 接続設定」を選び、○または決定ボタンを押す

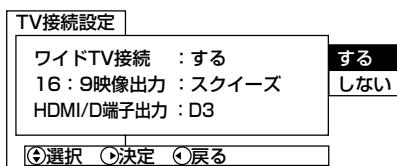
TV 接続設定メニューが表示されます。



## 3 ○で設定したい項目を選び、○または決定ボタンを押す



## 4 ○で設定する内容を選び、決定ボタンを押す



## 5 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す



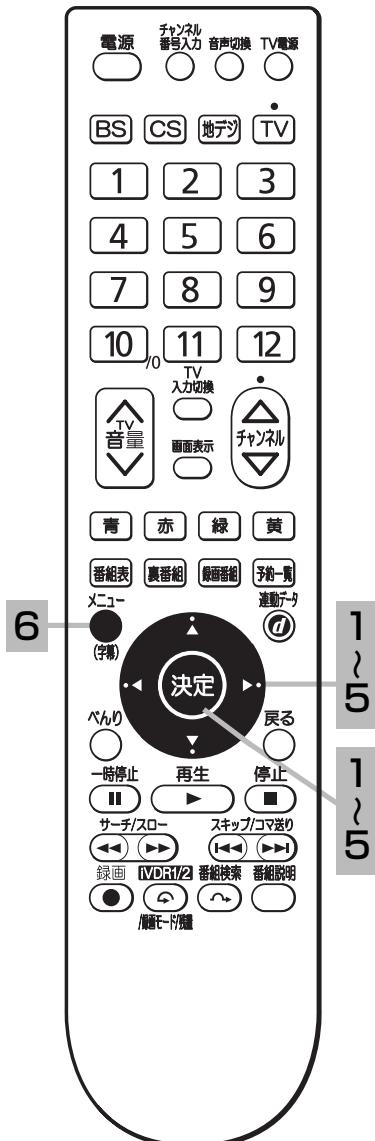
設定項目	内容
ワイド TV 接続	本機にワイド TV を接続している場合は「する」。接続していない場合は「しない」を設定します。
16:9 映像出力	16:9 映像を 4:3 サイズのテレビに出力するときの映像出力を設定します。 ● 「レターボックス」(推奨) 放送される映像、OSD を全て表示します。映像の上下に黒帯が付きます。 ● 「パンスキヤン」 放送される映像、OSD の左右をカットして表示します。 ● 「ワイド TV 接続」を「する」に設定した場合は設定できません。
HDMI/D 端子出力設定	本機に接続するテレビの HDMI/D 端子の種類を設定します。 ● テレビが D4 端子の場合 「D4」を選択してください。 ● テレビが D3 端子の場合 「D3」を選択してください。 ● テレビが D2 端子の場合 「D2」を選択してください。 ● テレビが D1 端子の場合 「D1」を選択してください。 S 映像端子、映像端子で接続する場合は、「D1(525i)」を選んでください。

### お知らせ

- D1/D2 映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D 端子をいったん外して「映像端子と接続する場合」**③**の接続を行ってから、「D 端子出力設定」を「D1(525i)」または「D2(525p)」に設定してください。「TV 接続設定」の設定が正しくないと、D 映像出力端子からの映像がテレビに映りません。
- お使いのテレビのコンポーネント入力端子が 1125i 信号のみ対応の機種の場合（主に MUSE 方式のアナログハイビジョンが該当します）は、「D 端子出力設定」を「D3(1125i)」に設定してください。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機を 4:3 テレビの D 端子に接続する場合、正しい縦横比で映像を表示するためには、テレビ側の映像を上下に圧縮（V 圧縮）して表示する機能\*が必要です。そのような機能がない 4:3 テレビには、D 端子で接続できません。S 映像端子や映像端子で接続してください。  
 \*メーカーにより、高画質ワイドモード、高密ワイドモードなどと呼ばれています。
- 「D 端子出力設定」を D3 または D4 に設定した場合、著作権保護の制限によって出力が禁止される場合があります。この場合は D 端子を外し、他の端子（HDMI/S 映像 / 映像）でテレビを接続してください。

# 電話回線を設定する

デジタル放送では、電話回線を使って有料番組の視聴記録送信や、視聴者参加番組でのデータ送信などを行なわれます。そのため、必ず電話回線の接続をしたうえ、電話設定を行なってください。

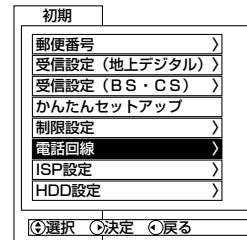


## 回線種別を設定する

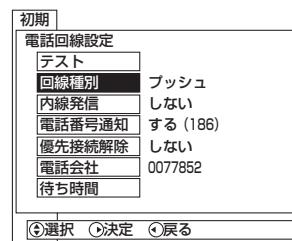
お使いの電話契約に合わせて「プッシュ」、「ダイヤル10」、「ダイヤル20」のいずれかに設定します。契約内容が不明のときは、「自動判別」を選ぶことにより自動設定もできます。  
お買い上げ時は、「プッシュ」に設定されています。

[54]の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ○で「電話回線」を選び、○または決定ボタンを押す  
電話回線画面が表示されます。



2 ○で「回線種別」を選び、○または決定ボタンを押す  
お買い上げ時は「プッシュ」に設定されています。

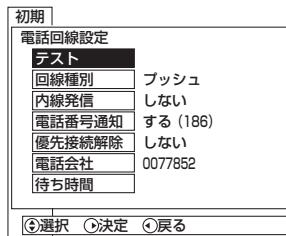


3 ○で「自動判別」を選び、決定ボタンを押す  
自動判別された結果が表示されるまで1分程度待ちます。



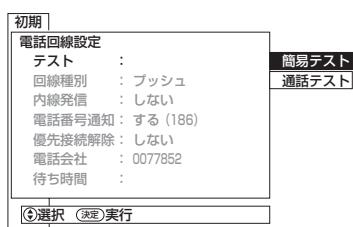
自動判別できなかった場合、ご使用になっている電話回線の種別を選び、決定ボタンを押してください。

## 4 ○で「テスト」を選び、○または決定ボタンを押す



## 5 ○で「簡易テスト」を選び、決定ボタンを押す

テスト結果が表示されるまで1分程度待ちます。



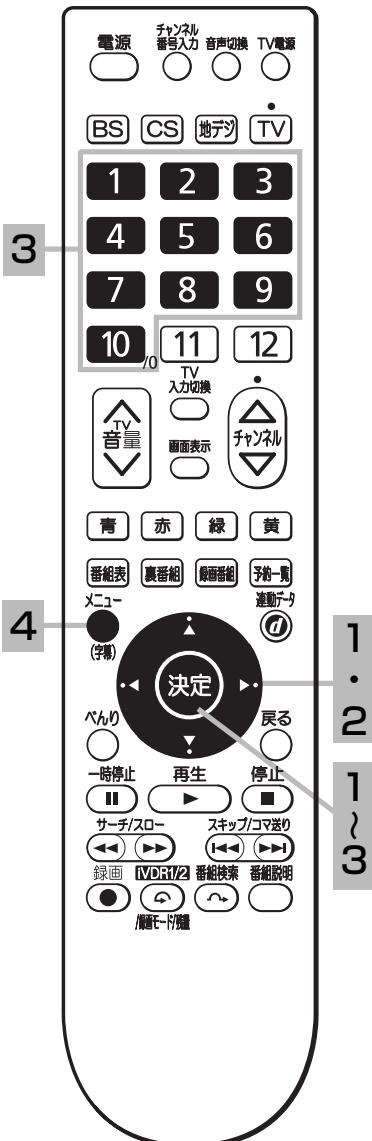
実際にダイヤル動作を行い回線の接続テストを行うときは「通話テスト」を選択してください。このテストには約10円の通話料がかかります。

## 6 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

- ご使用の電話回線がプッシュ式かダイヤル式かわからない場合は、ご使用の電話機からダイヤルし受話器から「ピッポッパッ」と聞こえるときはプッシュ(トーン)式です。「ガリガリ」または「ジリジリ」とダイヤルを回す音が聞こえるときはダイヤル(パルス)式です。
- 押しボタン式の電話機でもダイヤル式の場合があります。ご不明なときは最寄りの電話局にお問い合わせください。
- 「通話テスト」では「0570」ではじまるナビダイヤルに通話してテストを行います。
- NTT東日本・西日本が提供する「ひかり電話」のような一般加入電話と異なる電話をご使用の場合「通話テスト」ができない場合があります。詳しくは、電話会社にお問い合わせください。

# 電話回線を設定する

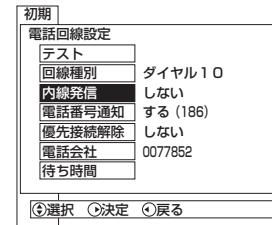


## 内線発信を設定する

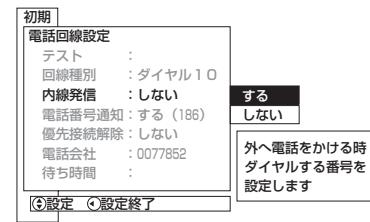
外線使用時に「0」発信などをしている場合に設定します。  
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

電話回線画面 58 を表示させます。

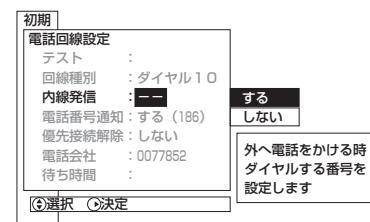
1 ○で「内線発信」を選び、○または決定ボタンを押す



2 ○で「する」を選び、決定ボタンを押す



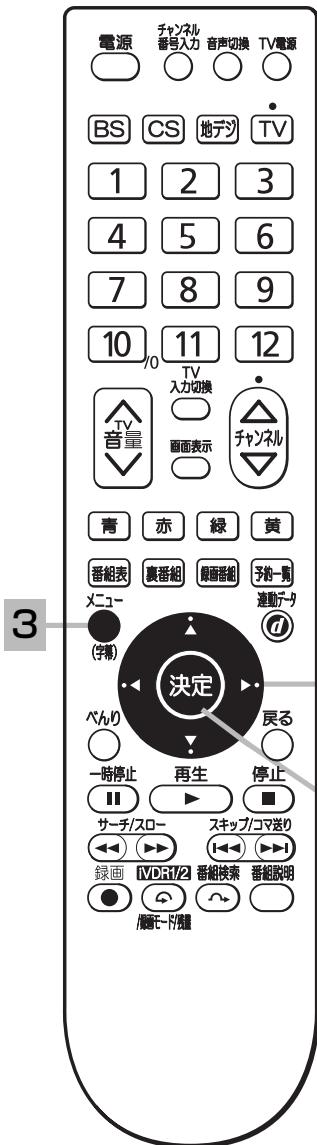
3 内線発信番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す  
例) 0 発信の場合



4 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

- 外線へ発信できない場合は、電話装置メーカーへご相談ください。
- 内線発信を「しない」に設定すると、設定した内線発信の内容は消去されます。



## 番号通知を設定する

電話を発信するときに、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

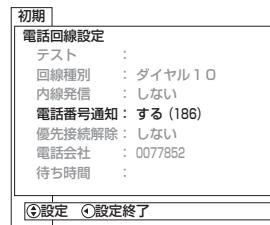
お買い上げ時は、「設定しない」（電話会社との契約のとおり）に設定されています。

電話回線画面 [58] を表示させます。

- 1 ○で「電話番号通知」を選び、○または決定ボタンを押す



- 2 ○で設定項目を選び、決定ボタンを押す



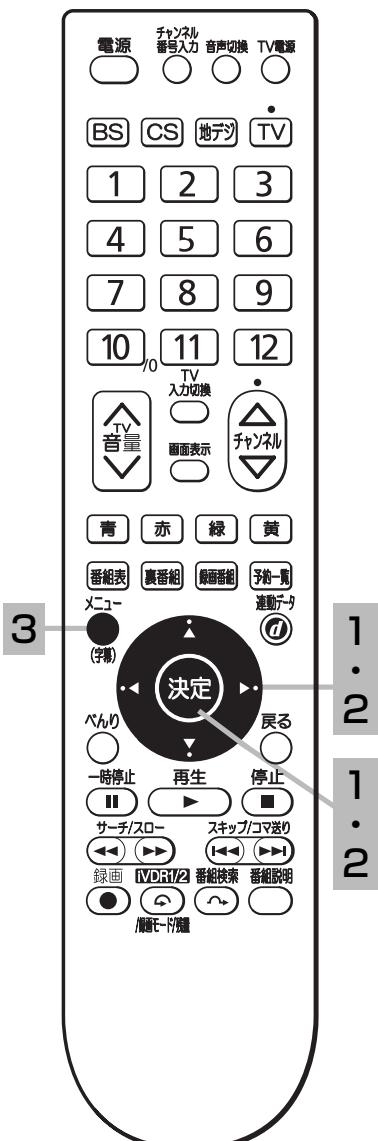
通知する : 「186」をつけてダイヤルします。

通知しない : 「184」をつけてダイヤルします。

設定しない : 何もつけずにダイヤルします。

- 3 メニューボタンを押し、メニューを消す

# 電話回線を設定する



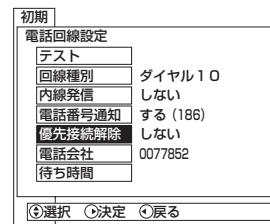
## 優先解除を設定する

マイラインプラスを登録しているときに、一時的に別の電話会社を利用したいときに設定します。

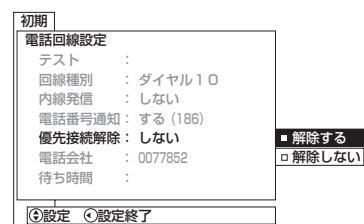
お買い上げ時は、「解除しない」に設定されています。

電話回線画面 [58] を表示させます。

1 ○で「優先接続解除」を選び、○または決定ボタンを押す



2 ○で「解除する」を選び、決定ボタンを押す



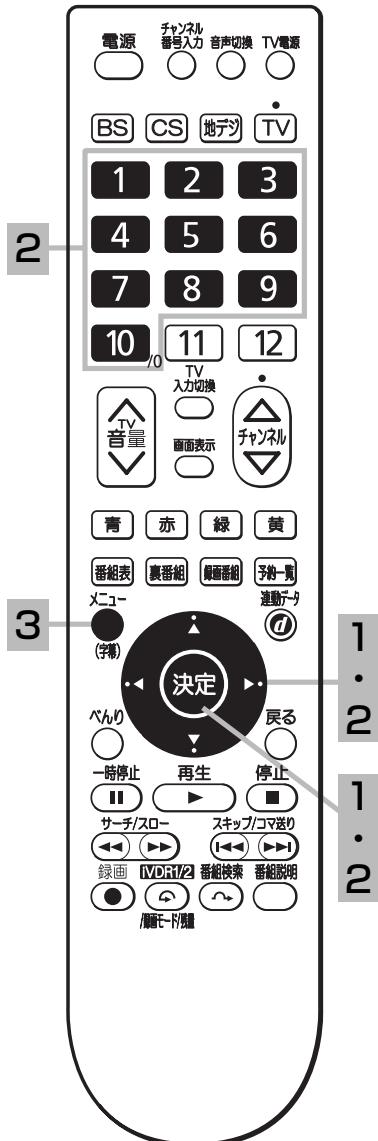
解除する：「122」をつけてダイヤルします。

解除しない：何もつけずにダイヤルします。

3 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

- 「解除する」を選んだ場合、マイラインプラスが一時的に解除され、任意の電話会社を利用できるようになります。「電話会社を設定する」[63] で、電話会社が設定されている場合は、その電話会社を利用し、電話会社の設定がない場合はマイライン登録している電話会社を利用します。
- マイラインプラスに加入していない場合は、「解除しない」を選択してください。

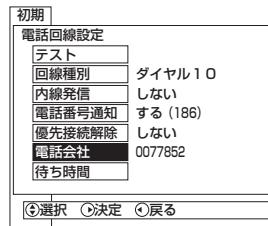


## 電話会社を設定する

マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社とは別の電話会社を利用したいときに設定します。マイラインプラスを登録している場合は、あらかじめ「優先解除を設定する」[\[62\]](#)で「解除する」を選んでください。  
お買い上げ時は、「設定なし」になっています。

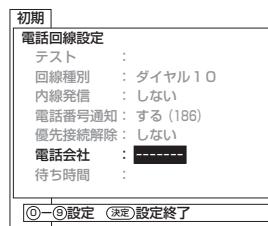
電話回線画面 [\[58\]](#) を表示させます。

**1** ○で「電話会社」を選び、○または決定ボタンを押す



**2** 電話会社番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例) 0034 の場合



番号を入力している途中で修正するときは、○ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻って行ってください。

**3** メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

- 1つの電話番号の回線にモジュラーフォンで本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。
- 不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

### 次のような症状がでるときは

電話回線へモジュラーフォンを使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

#### ●本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る

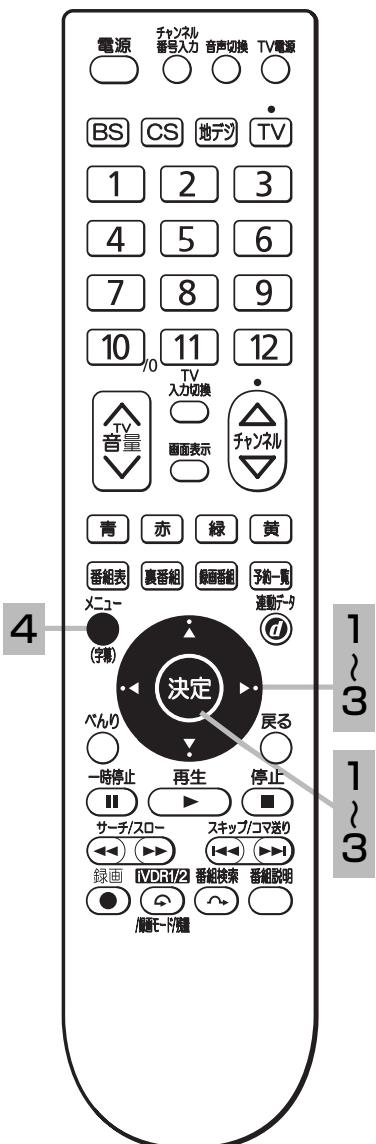
この症状がでるときは、モジュラーフォンを使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

#### ●電話機にノイズ（雑音）が入る

この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

# 電話回線を設定する



## 待ち時間を設定する

「内線発信」[60]、「電話番号通知」[61]、「優先接続解除」[62]、「電話会社」[63]を設定した場合は、付加番号（例：「0」発信）を発信した後に何秒待つかを設定します。  
お買い上げ時は、「なし」に設定されています。

電話回線画面 [58] を表示させます。

1 ○で「待ち時間」を選び、○または決定ボタンを押す

待ち時間設定画面が表示されます。

初期		電話回線設定
テスト		ダイヤル 10
回線種別		しない
内線発信		しない
電話番号通知	する (186)	
優先接続解除		しない
電話会社	0077852	
待ち時間		

初期		電話回線設定
待ち時間設定		なし
内線発信	なし	
電話番号通知	なし	
優先接続解除	なし	
電話会社	なし	

初期		電話回線設定
待ち時間設定		5秒
内線発信		
電話番号通知	なし	
優先接続解除	なし	
電話会社	なし	

2 ○で設定したい項目を選び、○または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

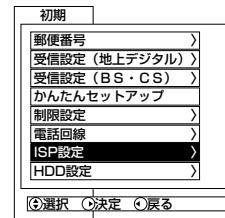
# ISP(プロバイダー)を設定する

お買い上げ時は、IPアドレスをDHCPにより自動で取得するモードに設定されています。ここでは、手動で設定する必要がある場合を説明しています。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ○で「ISP設定」を選び、○または決定ボタンを押す  
ISP設定画面が表示されます。



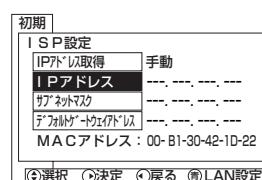
- 2 ○で「IPアドレス取得」を選び、○または決定ボタンを押す



- 3 ○で「手動」を選び、○または決定ボタンを押す



- 4 ○で「IPアドレス」を選び、○または決定ボタンを押す

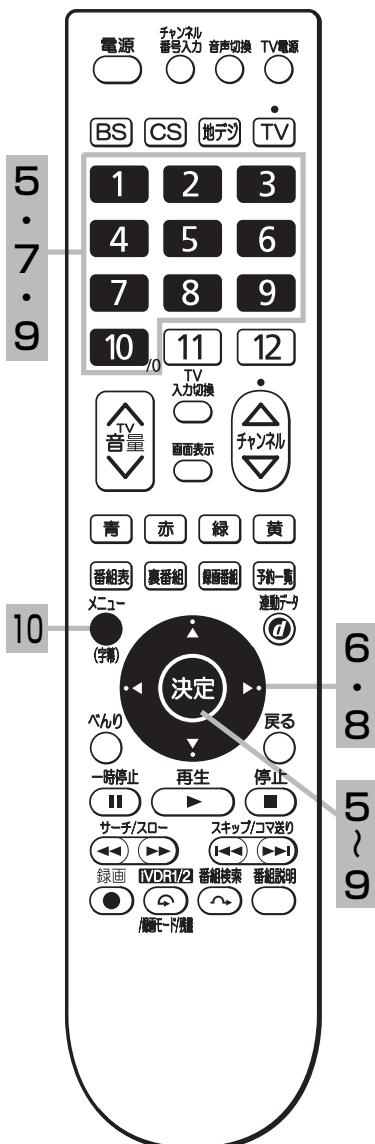


(次ページにつづく)

## お知らせ

- MACアドレスを設定することはできません。表示は、本機に設定されている値を示しています。
- IPアドレス取得が「DHCP」に設定されている場合、各項目を設定することはできません。
- LAN接続中にISPの設定を変更すると、LAN回線が切断されます。その場合はもう一度LAN接続を行ってください。

# ISP(プロバイダー)を設定する(つづき)



5 数字ボタンでIPアドレスを設定し、決定ボタンを押す

初期	ISP設定
IPアドレス取得	: 手動
IPアドレス	: ■ ---, ---, ---
サブネットマスク	: ---, ---, ---, ---
デフォルトゲートウェイ	: ---, ---, ---, ---
MACアドレス	: 00-B1-30-42-1D-22
①-⑨設定 ⑩戻る	

6 ○で「サブネットマスク」を選び、○または決定ボタンを押す

初期	ISP設定
IPアドレス取得	: 手動
IPアドレス	: 111.222.33.44
サブネットマスク	: ■ ---, ---, ---, ---
デフォルトゲートウェイ	: ---, ---, ---, ---
MACアドレス	: 00-B1-30-42-1D-22
④選択 ⑤決定 ⑩戻る ⑪LAN設定	

7 数字ボタンでサブネットマスクを設定し、決定ボタンを押す

初期	ISP設定
IPアドレス取得	: 手動
IPアドレス	: 111.222.33.44
サブネットマスク	: 111.222.33.44
デフォルトゲートウェイ	: ---, ---, ---, ---
MACアドレス	: 00-B1-30-42-1D-22
⑥-⑨設定 ⑩戻る	

8 ○で「デフォルトゲートウェイアドレス」を選び、○または決定ボタンを押す

初期	ISP設定
IPアドレス取得	: 手動
IPアドレス	: 111.222.33.44
サブネットマスク	: 111.222.33.44
デフォルトゲートウェイ	: ■ ---, ---, ---, ---
MACアドレス	: 00-B1-30-42-1D-22
⑦選択 ⑧決定 ⑩戻る ⑪LAN設定	

9 数字ボタンでデフォルトゲートウェイアドレスを設定し、決定ボタンを押す

初期	ISP設定
IPアドレス取得	: 手動
IPアドレス	: 111.222.33.44
サブネットマスク	: 111.222.33.44
デフォルトゲートウェイ	: ■ ---, ---, ---, ---
MACアドレス	: 00-B1-30-42-1D-22
⑨-⑩設定 ⑩戻る	

10 メニューボタンを押し、メニューを消す

# LAN を設定する

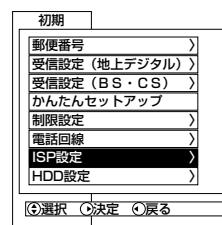
お買い上げ時は、通信設定は「自動」に設定しております。  
通信が正しく行われないとき以外は、「自動」でお使いください。  
ここでは、手動で設定する必要がある場合を説明しています。



1  
2  
3  
4

⑤4の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

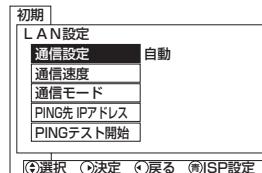
1 ①で「ISP 設定」を選び、②または決定ボタンを押す  
ISP 設定画面が表示されます。



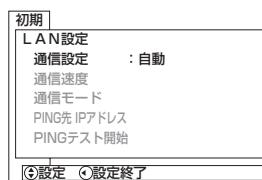
2 青 ボタンを押す  
LAN 設定画面が表示されます。



3 ①で「通信設定」を選び、②または決定ボタンを押す



4 ①で「手動」を選び、②または決定ボタンを押す



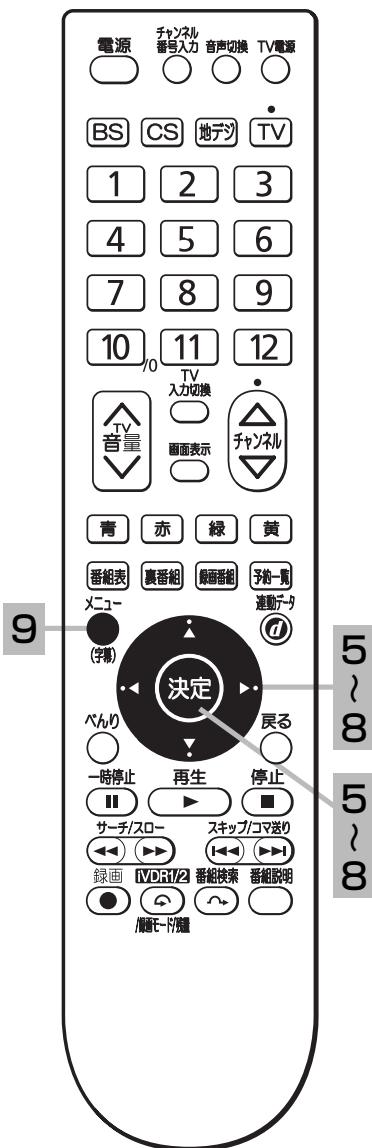
お買い上げ時は「自動」に設定されています。

(次ページにつづく)

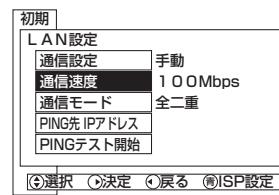
## お知らせ

- 通信設定を「手動」にしたときの通信速度と通信モードの設定については、  
LAN 端子に接続した ADSL モデムや  
ケーブルモデムの取扱説明書をご覧ください。
- LAN 接続中に LAN の設定を変更すると、LAN 回線が切断されます。その場合はもう一度 LAN 接続を行ってください。

# LAN を設定する（つづき）



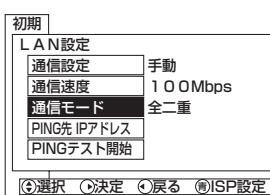
5 ▲で「通信速度」を選び、○または決定ボタンを押す



6 ▲で「100Mbps」または「10Mbps」を選び、○または決定ボタンを押す



7 ▲で「通信モード」を選び、○または決定ボタンを押す



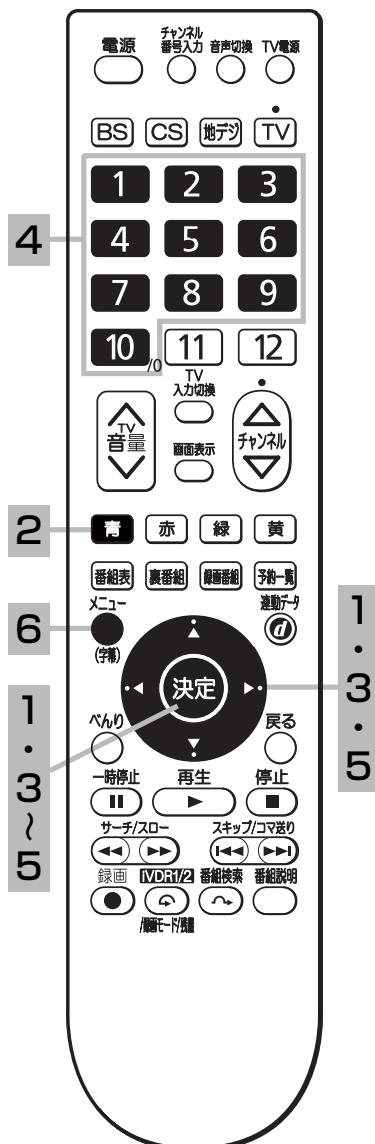
- 8 ○で「全二重」または「半二重」を選び、○または決定ボタンを押す



- 9 メニュー ボタンを押し、メニューを消す

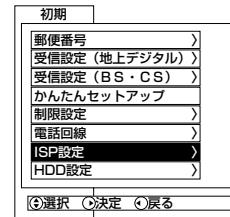
# LAN 接続機器との接続確認をする

LAN 接続された機器の IP アドレスを指定することで接続確認をすることができます。



⑤4の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ①で「ISP 設定」を選び、②または決定ボタンを押す  
ISP 設定画面が表示されます。



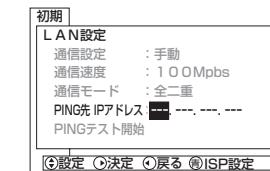
- 2 青 ボタンを押す  
LAN 設定画面が表示されます。



- 3 ①で「PING 先 IP アドレス」を選び、②または決定ボタンを押す



- 4 数字ボタンで IP アドレスを設定し、決定ボタンを押す



- 5 ①で「PING テスト開始」を選び、決定ボタンを押す



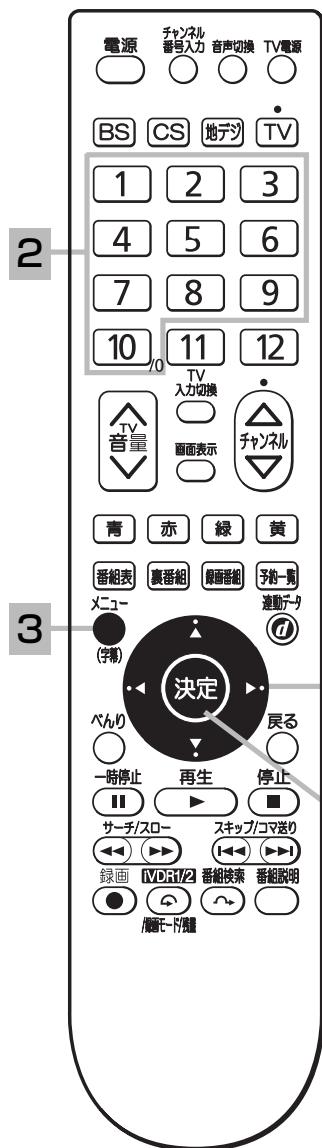
テストの結果、応答があれば「OK」、  
応答が無い場合は「NG」と表示されます。

- 6 メニュー ボタンを押し、メニューを消す

# お住まいの地域に合わせて受信設定をする

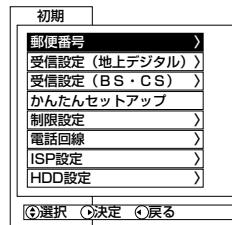
## 郵便番号を設定する

この設定を行うと、お住まいの地域に関するデータ放送を受信することができます。

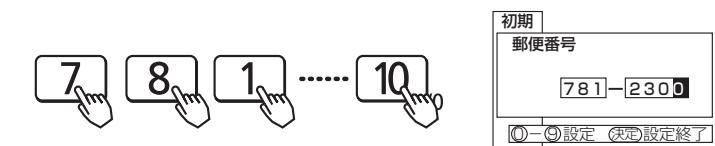


54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ○で「郵便番号」を選び、○または決定ボタンを押す  
郵便番号設定画面が表示されます。



- 2 お住まいの地域の郵便番号（7桁）を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す



- 3 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

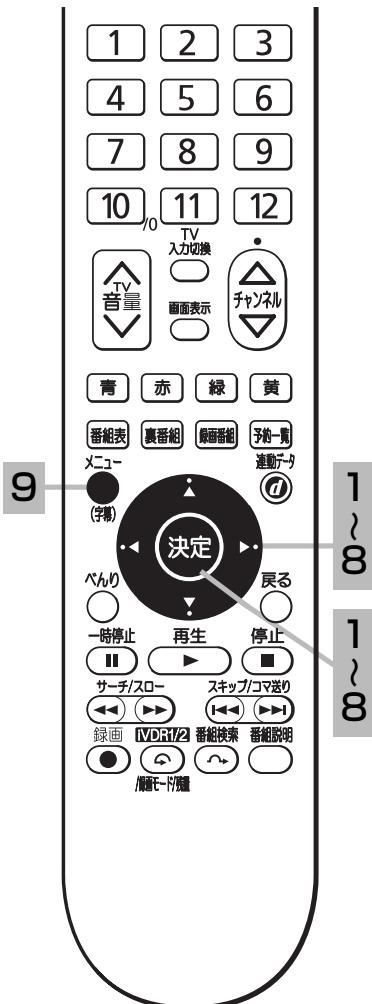
- 郵便番号を消去する場合は全て「0」を設定し、決定ボタンを押します。
- 郵便番号を入力している途中で修正するときは、○ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻してください。

# 地上デジタル放送の受信設定

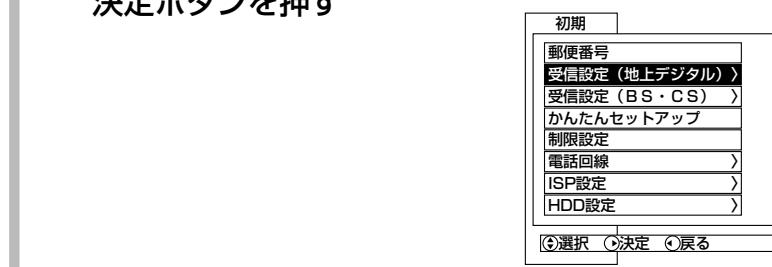
## 地域名によるチャンネルの合わせかた

初期スキャンを行わないと、地上デジタル放送は受信できません。  
引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合も、初期スキャンを行ってください。  
新しく追加された放送局を追加する場合は再スキャンを行なってください。

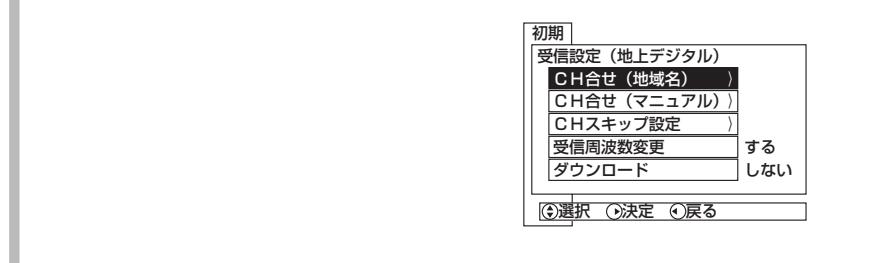
54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



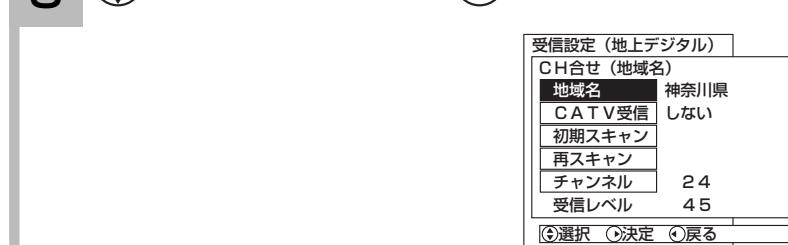
1 □で「受信設定（地上デジタル）」を選び、○または決定ボタンを押す



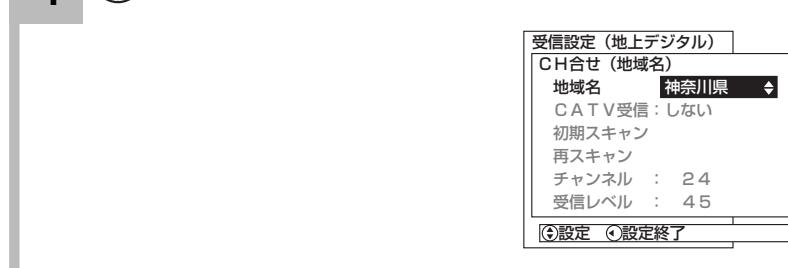
2 □で「CH合せ（地域名）」を選び、○または決定ボタンを押す



3 □で「地域名」を選び、○または決定ボタンを押す



4 □でお住まいの地域を設定し、決定ボタンを押す



### お知らせ

- CH合せ（地域名）はBS・CSデジタル放送の地域設定を兼用しています。東京都島部、鹿児島県島部を設定する場合は、この地域名から選択してください。
- BS・CSデジタル放送のみ受信する場合でも緊急警報放送を正しく受信するには、地域名をお住まいの地域に設定してください。
- 初期スキャンを行っていない場合は、再スキャンは実行できません。
- 受信レベルの数値の横に、受信状態を表すコードが表示されることがあります。

## 5 ○で「CATV 受信」を選び、○または決定ボタンを押す

受信設定（地上デジタル）	
CH合せ（地域名）	
地域名	神奈川県
CATV受信	<input checked="" type="checkbox"/> しない
初期スキャン	
再スキャン	
チャンネル	24
受信レベル	45
<input type="button" value="④選択"/> <input type="button" value="⑤決定"/> <input type="button" value="⑥戻る"/>	

## 6 ○で「しない」を選び、○または決定ボタンを押す

「しない」：UHF アンテナを接続しているときや CATV（ケーブルテレビ）で同一周波数パススルー方式により地上デジタル放送が伝送されているときに選択します。

「する」：CATV（ケーブルテレビ）で周波数変換パススルー方式により地上デジタル放送が伝送されているときに選択します。[29](#)

受信設定（地上デジタル）	
CH合せ（地域名）	
地域名	神奈川県
CATV受信	<input checked="" type="checkbox"/> しない
初期スキャン	
再スキャン	
チャンネル	24
受信レベル	45
<input type="button" value="④選択"/> <input type="button" value="⑤決定実行"/>	

## 7 ○で「初期スキャン」を選び、○または決定ボタンを押す

受信設定（地上デジタル）	
CH合せ（地域名）	
地域名	神奈川県
CATV受信	<input checked="" type="checkbox"/> しない
初期スキャン	<input checked="" type="checkbox"/>
再スキャン	
チャンネル	24
受信レベル	45
<input type="button" value="④選択"/> <input type="button" value="⑤決定"/> <input type="button" value="⑥戻る"/>	

## 8 ○で「開始する」を選び、決定ボタンを押す

受信設定（地上デジタル）	
CH合せ（地域名）	
地域名	神奈川県
CATV受信	<input checked="" type="checkbox"/> しない
初期スキャン	<input checked="" type="checkbox"/>
再スキャン	
チャンネル	13
受信レベル	0
<input type="button" value="④選択"/> <input type="button" value="⑤決定実行"/>	
<input type="button" value="開始する"/> <input type="button" value="開始しない"/>	

全チャンネルを自動でスキャンします。

## 9 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

●地上デジタル放送では、CH ボタン（1～12）の番号に対応した3桁のチャンネル番号が付けられています。番組表などには、この3桁のチャンネル番号が表示されます。

1つの放送局で複数の放送が行われている場合は、この3桁のチャンネル番号の下1桁が異なります。

●3桁のチャンネル番号は、放送地域内では、別の番号になっています。隣接地域の放送局で同じ3桁番号になる場合は、放送局を区別するために、さらにもう1桁番号が付加されています。（付加される番号を枝番といいます。）

●お住まいの地域で新しく放送が開始された場合、「再スキャン」を選び、受信放送局を追加する必要があります。

### メモ

#### 地上デジタル放送の受信レベルについて

●地上デジタル放送の受信レベルは、「受信設定（地上デジタル）」画面から、「CH合せ（地域名）」または「CH合せ（マニュアル）」画面を選択・表示し、「受信レベル」の数値にて確認できます。受信レベルの目安は45以上です。

●受信レベルが45未満の場合には、正常に受信できない場合があります。このような場合は、「受信レベル」の数値が最大になるように、地上デジタル受信用アンテナの向きを調整したり、接続状況（接栓・分配・混合など）やブースター等の調整、アンテナの劣化が無いか等を確認してから、再度初期スキャンを行ってください。[28](#)

●受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信 C/N の換算値（信号と雑音の比率）で電波の質を表すものであり、強さを表すものではありません。ブースター等の調整で、アンテナ信号を過大に増幅した場合、受信レベルが上がらない、または受信レベルが下がる場合があります。

#### デジタル放送録画時のご注意

デジタル放送の受信状態が悪いときに、iVDRへTSE、XP、SP、LP、EPモードで録画すると、一時的に映像や音声が止まったりする場合があります。画面に映っている映像よりも悪くなります。これは、入力電波にノイズが入り本機内部での再圧縮ができなくなるもので故障ではありません。

# 地上デジタル放送の受信設定

## 〔地域名一覧表〕(2007年10月現在)

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放送局名											
※区域放送開始前 <b>北海道</b>	011 HBC 北海道放送	021 NHK 教育・札幌	031 NHK 総合・札幌		051 STV 札幌テレビ	061 HTB 北海道テレビ	071 TVH	081 UHB				
※区域放送開始後 <b>北海道(札幌)</b>	011 HBC 札幌	021 NHK 教育・札幌	031 NHK 総合・札幌		051 STV 札幌	061 HTB 札幌	071 TVH 札幌	081 UHB 札幌				
<b>北海道(函館)</b>	011 HBC 函館	021 NHK 教育・函館	031 NHK 総合・函館		051 STV 函館	061 HTB 函館	071 TVH 函館	081 UHB 函館				
<b>北海道(旭川)</b>	011 HBC 旭川	021 NHK 教育・旭川	031 NHK 総合・旭川		051 STV 旭川	061 HTB 旭川	071 TVH 旭川	081 UHB 旭川				
<b>北海道(帯広)</b>	011 HBC 帯広	021 NHK 教育・帯広	031 NHK 総合・帯広		051 STV 帯広	061 HTB 帯広	071 TVH 帯広	081 UHB 帯広				
<b>北海道(釧路)</b>	011 HBC 釧路	021 NHK 教育・釧路	031 NHK 総合・釧路		051 STV 釧路	061 HTB 釧路	071 TVH 釧路	081 UHB 釧路				
<b>北海道(北見)</b>	011 HBC 北見	021 NHK 教育・北見	031 NHK 総合・北見		051 STV 北見	061 HTB 北見	071 TVH 北見	081 UHB 北見				
<b>北海道(室蘭)</b>	011 HBC 室蘭	021 NHK 教育・室蘭	031 NHK 総合・室蘭		051 STV 室蘭	061 HTB 室蘭	071 TVH 室蘭	081 UHB 室蘭				
<b>青森</b>	011 RAB 青森放送	021 NHK 教育・青森	031 NHK 総合・青森		051 青森 朝日放送	061 ATV 青森テレビ						
<b>岩手</b>	011 NHK 総合・盛岡	021 NHK 教育・盛岡		041 テレビ 岩手	051 岩手朝日 テレビ	061 IBC テレビ		081 めんこい テレビ				
<b>宮城</b>	011 TBC テレビ	021 NHK 教育・仙台	031 NHK 総合・仙台	041 ミヤギ テレビ	051 KHB 東日本放送			081 仙台放送				
<b>秋田</b>	011 NHK 総合・秋田	021 NHK 教育・秋田		041 ABS 秋田放送	051 AAB 秋田 朝日放送			081 AKT 秋田テレビ				
<b>山形</b>	011 NHK 総合・山形	021 NHK 教育・山形		041 YBC 山形放送	051 YTS 山形テレビ			081 さくらんぼ テレビ				
<b>福島</b>	011 NHK 総合・福島	021 NHK 教育・福島		041 福島中央 テレビ	051 KFB 福島放送			081 福島 テレビ				
<b>茨城</b>	011 NHK 総合・水戸	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>栃木</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 とちぎ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>群馬</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 群馬 テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>埼玉</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 テレ玉	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>千葉</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 チバ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>東京</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン	091 東京MX テレビ			121 放送大学
<b>神奈川</b>	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 tvk	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
<b>新潟</b>	011 NHK 総合・新潟	021 NHK 教育・新潟		041 TeNY テレビ新潟	051 新潟 テレビ21	061 BSN		081 NST				
<b>富山</b>	011 KNB 北日本放送	021 NHK 教育・富山	031 NHK 総合・富山		041 チューリップ テレビ			081 BBT 富山テレビ				
<b>石川</b>	011 NHK 総合・金沢	021 NHK 教育・金沢		041 テレビ 金沢	051 北陸 朝日放送	061 MRO		081 石川 テレビ				
<b>福井</b>	011 NHK 総合・福井	021 NHK 教育・福井						071 FBC テレビ	081 福井 テレビ			

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放送局名											
山梨	011 NHK 総合・甲府	021 NHK 教育・甲府		041 YBS 山梨放送		061 UTY						
長野	011 NHK 総合・長野	021 NHK 教育・長野		041 テレビ 信州	051 a b n 長野 朝日放送	061 SBC 信越放送		081 NBS 長野放送				
岐阜	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・岐阜	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ~テレ		081 岐阜 テレビ				
愛知	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・名古屋	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ~テレ			101 テレビ 愛知			
三重	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・津	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ~テレ	071 三重 テレビ					
静岡	011 NHK 総合・静岡	021 NHK 教育・静岡		041 静岡第一 テレビ	051 静岡朝日 テレビ	061 SBS		081 テレビ 静岡				
滋賀	011 NHK 総合・大津	021 NHK 教育・大阪	031 BBC びわこ放送	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
京都	011 NHK 総合・京都	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送	051 KBS 京都	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
大阪	011 NHK 総合・大阪	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ	071 テレビ 大阪	081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
兵庫	011 NHK 総合・神戸	021 NHK 教育・大阪	031 サン テレビ	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
奈良	011 NHK 総合・奈良	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ	091 奈良 テレビ	101 よみうり テレビ		
和歌山	011 NHK 総合・和歌山	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送	051 テレビ 和歌山	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
鳥取	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育・鳥取	031 NHK 総合・鳥取			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
島根	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育・松江	031 NHK 総合・松江			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
岡山	011 NHK 総合・岡山	021 NHK 教育・岡山		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
香川	011 NHK 総合・高松	021 NHK 教育・高松		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
広島	011 NHK 総合・広島	021 NHK 教育・広島	031 RCC テレビ	041 広島 テレビ	051 広島 ホームテレビ			081 TSS				
山口	011 NHK 総合・山口	021 NHK 教育・山口	031 TYS テレビ山口	041 KRY 山口放送	051 YAB 山口朝日							
徳島	011 四国放送	021 NHK 教育・徳島	031 NHK 総合・徳島									
愛媛	011 NHK 総合・松山	021 NHK 教育・松山		041 南海放送	051 愛媛朝日	061 あい テレビ		081 テレビ 愛媛				
高知	011 NHK 総合・高知	021 NHK 教育・高知		041 高知放送		061 テレビ 高知		081 さんさん テレビ				
福岡	011 KBC九州 朝日放送	021 NHK 教育・福岡	031 NHK 総合・福岡	041 RKB 毎日放送	051 FBS 福岡放送		071 TVQ 九州放送	081 TNC テレビ西日本	021、031は、NHK 教育・北九州、 NHK 総合・北九州が設定されることがあります。			
佐賀	011 NHK 総合・佐賀	021 NHK 教育・佐賀	031 STS サガテレビ									
長崎	011 NHK 総合・長崎	021 NHK 教育・長崎	031 NBC 長崎放送	041 NIB 長崎 国際テレビ	051 NCC 長崎 文化放送			081 KTN テレビ長崎				
熊本	011 NHK 総合・熊本	021 NHK 教育・熊本	031 RKK 熊本放送	041 KKT くまもと県民	051 KAB 熊本 朝日放送			081 TKU テレビ熊本				
大分	011 NHK 総合・大分	021 NHK 教育・大分	031 OBS 大分放送	041 TOS テレビ大分	051 OAB 大分 朝日放送							
宮崎	011 NHK 総合・宮崎	021 NHK 教育・宮崎	031 UMK テレビ宮崎			061 MRT 宮崎放送						
鹿児島	011 MBC 南日本放送	021 NHK 教育・鹿児島	031 NHK 総合・鹿児島	041 KYT 鹿児島 読売 TV	051 KKB 鹿児島放送			081 KTS 鹿児島テレビ				
沖縄	011 NHK 総合・那覇	021 NHK 教育・那覇	031 RBC テレビ		051 QAB 琉球 朝日放送			081 沖縄テレビ (OTV)				

# 地上デジタル放送の受信設定

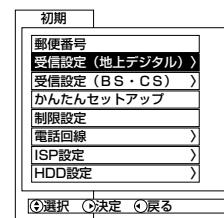
## マニュアルで CH ボタンの登録を変更する

1～12 のボタンに設定されているチャンネルの登録をお好みの設定に変更することができます。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ○で「受信設定（地上デジタル）」を選び、○または決定ボタンを押す



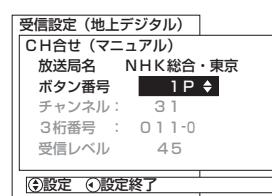
- 2 ○で「CH 合せ（マニュアル）」を選び、○または決定ボタンを押す



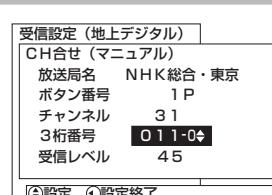
- 3 ○で「ボタン番号」を選び、○または決定ボタンを押す



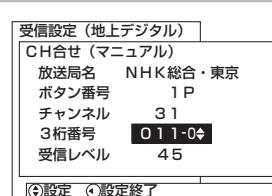
- 4 ○で登録を変えたいボタン番号を選び、○または決定ボタンを押す



- 5 ○で「チャンネル」または「3 術番号」を選び、○または決定ボタンを押す



- 6 ○で登録したいチャンネルまたは3 術番号を選び、○または決定ボタンを押す



●設定内容が変更された場合、確認画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」、変更しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押してください。

●すでに受信設定済みのチャンネルまたは3 術番号を選ぶことができます。

- 7 メニュー ボタンを押し、メニューを消す

# チャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップ / ダウンボタンで選局するとき、チャンネルを自動的に飛び越し（スキップ）して早く選局できます。

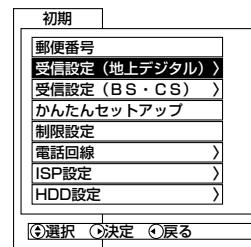


5

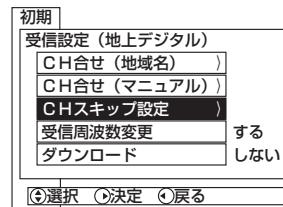
1  
4  
1  
4

⑤4の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

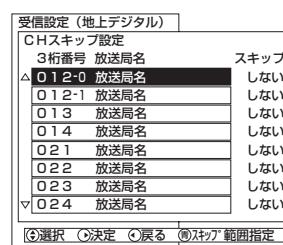
- 1 ④で「受信設定（地上デジタル）」を選び、⑤または決定ボタンを押す



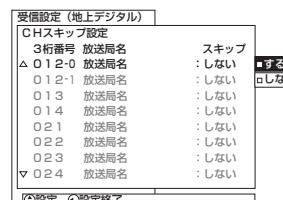
- 2 ④で「CHスキップ設定」を選び、⑤または決定ボタンを押す



- 3 ④で設定したいチャンネル（3桁番号）を選び、⑤または決定ボタンを押す



- 4 ④で設定し、⑤または決定ボタンを押す



- 5 メニューボタンを押し、メニューを消す

## お知らせ

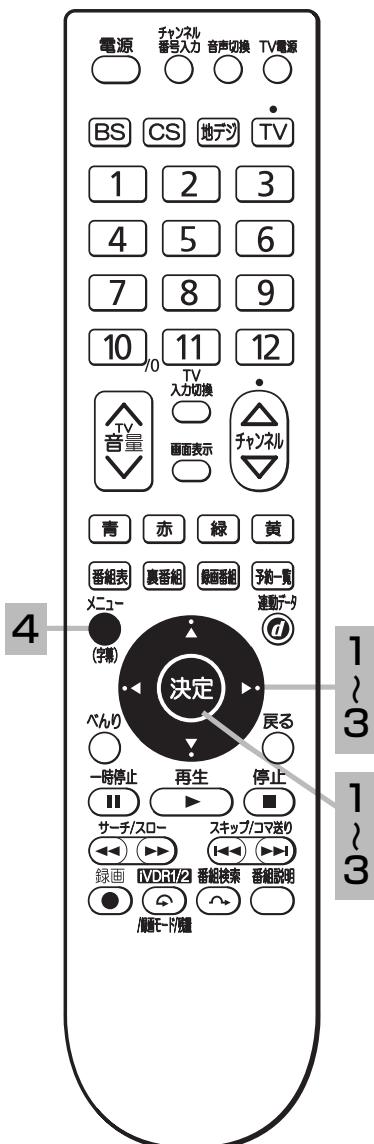
複数のチャンネルを変更する場合、青ボタンを押すと、範囲を指定して設定を変更することができます。

※複数のチャンネルを設定する場合 3・4 の操作をくり返す。

# 地上デジタル放送の受信設定

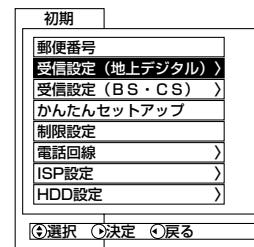
## 受信周波数変更を設定する

お買い上げ時は、「する」に設定されています。  
通常は、この設定でご使用ください。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

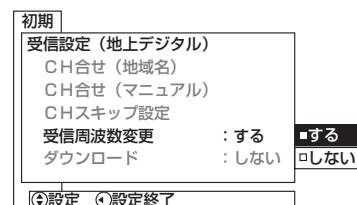
1 ○で「受信設定（地上デジタル）」を選び、○または決定ボタンを押す



2 ○で「受信周波数変更」を選び、○または決定ボタンを押す



3 ○で設定し、○または決定ボタンを押す



4 メニューボタンを押し、メニューを消す

### メモ

放送局から送信される周波数のみが変更された場合に、自動的に受信する周波数を変更するものです。

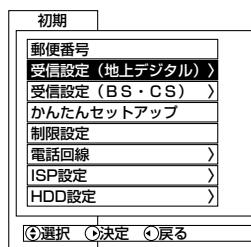
# ダウンロード設定を変更する

ダウンロード機能とは、地上デジタル放送を受信して、ダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。

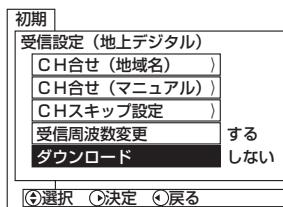


④の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

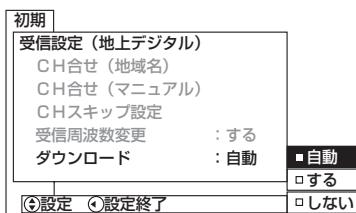
1 ①で「受信設定（地上デジタル）」を選び、②または決定ボタンを押す



2 ①で「ダウンロード」を選び、②または決定ボタンを押す



3 ①で設定し、②または決定ボタンを押す



自動	ダウンロード情報が届くと、自動的にダウンロードを行います。
する	ダウンロード情報が届くと、メールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。予定時刻に、自動的にダウンロードを行います。
しない	ダウンロード情報をメールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。ダウンロードする場合は、設定を「自動」または「する」に変更してください。

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

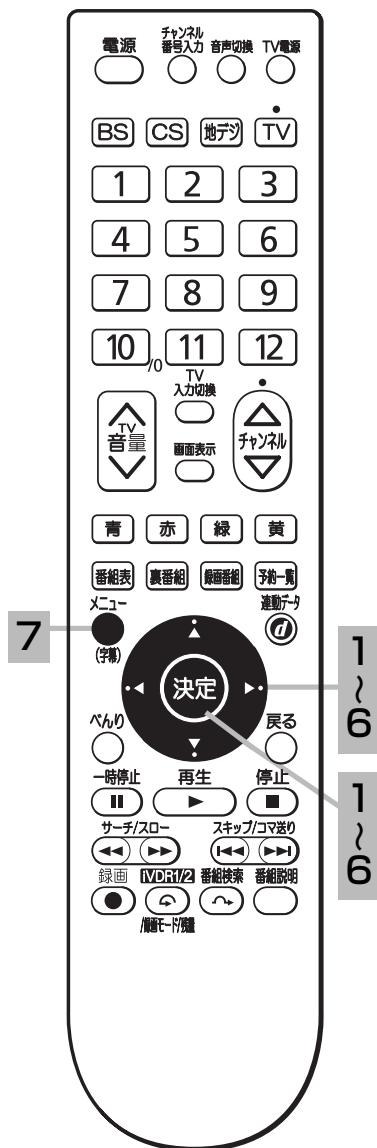
## お知らせ

お買い上げ時は、「自動」に設定されています。通常は、この設定でご使用ください。

# BS・CS デジタル放送の受信設定

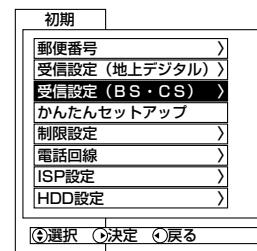
## マニュアルで CH ボタンの登録を変更する

1～12 のボタンに設定されているチャンネルの登録をお好みの設定に変更することができます。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ○で「受信設定 (BS・CS)」を選び、○または決定ボタンを押す



- 2 例：「CH 合せ (BS)」を選んだとき

- で「CH 合せ (BS)」を選び、○または決定ボタンを押す



CS デジタルの放送を変更する場合は、「CH 合せ (CS)」を選びます。

- 3 ○で「ボタン番号」を選び、○または決定ボタンを押す



- 4 ○で登録を変えたいボタン番号を選び、○または決定ボタンを押す



## 5 ○で「チャンネル番号」を選び、○または決定ボタンを押す



## 6 ○で登録したいチャンネルを選び、○または決定ボタンを押す



- 設定内容が変更された場合、確認画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」、変更しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押してください。
- すでに受信設定済みのチャンネル番号を選ぶことができます。

## 7 メニューボタンを押し、メニューを消す

### メモ

#### BS・CS デジタル放送の受信レベルについて

- BS・CS デジタル放送の受信レベルは、「受信設定 (BS・CS)」画面から、「CH合せ (BS)」または「CH合せ (CS)」画面を選択・表示し、「受信レベル」の数値にて確認できます。受信レベルの目安は50以上ですが、BS・CSデジタル放送は天候の影響を受けやすく、天候悪化時に受信レベルが低下する場合があります。できるだけ安定して受信するためには、晴天時で50台後半～60前後を目安にしてください。
- 受信レベルが50未満の場合には、正常に受信できない場合があります。このような場合は、「受信レベル」の数値が最大になるように、BS・CS デジタル受信用アンテナの向き(仰角・方位角)を調整したり、接続状況(接栓・分配・混合など)やアンテナの劣化が無いか等を確認してください。[30]

- 受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信 C/N の換算値(信号と雑音の比率)で電波の質を表すものであり、強さを表すものではありません。

アンテナ信号を過大に增幅した場合、受信レベルが上がらない、または受信レベルが下がる場合があります。

#### デジタル放送録画時のご注意

デジタル放送の受信状態が悪いときに、iVDRへTSE、XP、SP、LP、EPモードで録画すると、一時的に映像や音声が止まったりする場合があります。画面に映っている映像よりも悪くなります。これは、入力電波にノイズが入り本機内部での再圧縮ができなくなるもので故障ではありません。

### お知らせ

アンテナの仰角、方位角の調整方法は110度CS対応BSデジタルアンテナの取扱説明書をご覧ください。

# BS・CS デジタル放送の受信設定

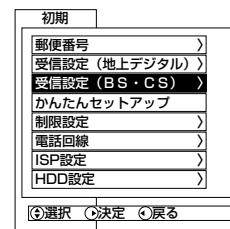
## チャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップ / ダウンボタンで選局するとき、チャンネルを自動的に飛び越し（スキップ）して早く選局できます。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ▲で「受信設定 (BS・CS)」を選び、○または決定ボタンを押す



2 例：「CH スキップ設定 (BS)」を選んだとき

▲で「CH スキップ設定 (BS)」を選び、○または決定ボタンを押す



CS デジタル放送の設定を変更する場合は、「CH スキップ設定 (CS)」を選びます。

3 ▲で設定したいチャンネルを選び、○または決定ボタンを押す



4 ▲で設定し、○または決定ボタンを押す



5 メニューボタンを押し、メニューを消す

### お知らせ

複数のチャンネルを変更する場合、青ボタンを押すと、範囲を指定して設定を変更することができます。

※複数のチャンネルを設定する場合 3・4 の操作をくり返す。

# 受信設定を変更する

衛星周波数の変更と、各トランスポンダーの受信レベルを確認することができます。  
通常は衛星周波数の変更を行う必要はありません。



## お守りください

### 受信設定について

衛星の故障などによって、受信する周波数を変更する必要がある場合に行います。放送から変更の指示がないときは行わないでください。

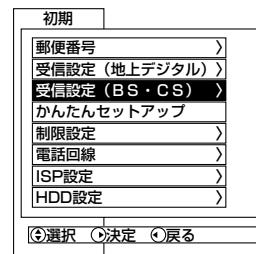
## お知らせ

各トランスポンダーの受信レベルを確認する場合は、「トランスポンダー」を選び、決定ボタンを押します。

①ボタンで確認するトランスポンダーを選んでください。  
確認が終わったら戻るボタンを押します。

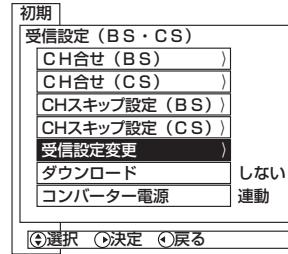
54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ①で「受信設定 (BS・CS)」を選び、②または決定ボタンを押す



- 2 ①で「受信設定変更」を選び、②または決定ボタンを押す

受信設定変更画面が表示されます。



- 3 ①で「衛星周波数」を選び、②または決定ボタンを押す



- 4 設定する周波数を数字ボタンで押す



- 5 設定が終了したら②または決定ボタンを押す

- 6 メニューボタンを押し、メニューを消す

# BS・CS デジタル放送の受信設定

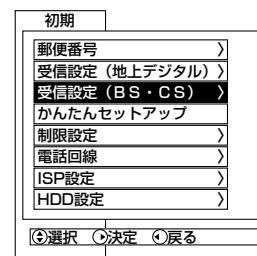
## アンテナの設定を変更する

本機からアンテナのコンバーターへの、電源の供給を設定します。  
お買上げ時は「連動」に設定されています。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

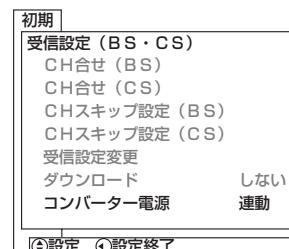
1 ○で「受信設定 (BS・CS)」を選び、○または決定ボタンを押す



2 ○で「コンバーター電源」を選び、○または決定ボタンを押す



3 ○で設定し、○または決定ボタンを押す



### お守りください

コンバーター電源についてのご注意  
共聴受信などで視聴されるとき（電源供給を必要としないとき）は、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてください。

### お知らせ

アンテナの仰角、方位角の調整方法は、  
110度CS対応BSデジタルアンテナの  
取扱説明書をご覧ください。

**連動** 個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。

**切** マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

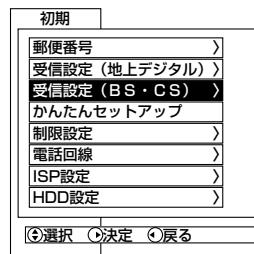
# ダウンロード設定を変更する

ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。



⑤⑥の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

- 1 ①で「受信設定 (BS・CS)」を選び、②または決定ボタンを押す



- 2 ①で「ダウンロード」を選び、②または決定ボタンを押す



- 3 ①で設定し、②または決定ボタンを押す



自動	ダウンロード情報が届くと、自動的にダウンロードを行います。
する	ダウンロード情報が届くと、メールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。予定時刻に自動的にダウンロードを行います。
しない	ダウンロード情報をメールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。ダウンロードする場合は、設定を「自動」または「する」に変更してください。

- 4 メニューボタンを押し、メニューを消す

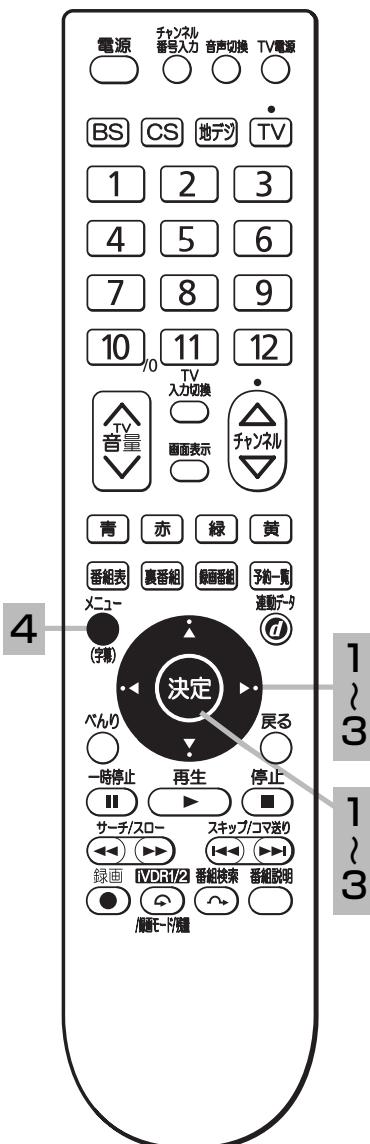
## お知らせ

お買い上げ時は、「自動」に設定されています。通常は、この設定をご使用ください。

# iVDR を設定する

## 重要

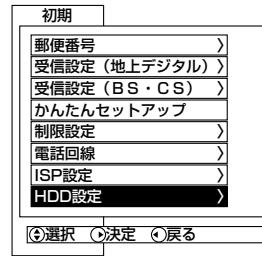
「iVDR1 初期化」または「iVDR2 初期化」を「する」に設定すると、録画内容が全て消去されます。  
大切な番組はビデオテープなどに保存してから行ってください。



54の操作で「初期設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ○で「HDD 設定」を選び、○または決定ボタンを押す

「HDD 設定」の画面が表示されます。



2 ○で設定したい項目を選び、○または決定ボタンを押す

し、○で設定する



○ HDD 設定 項 目	○ → ○	設定のポイント
サムネイル 作成時間	0 分 / 1 分 / ... / 10 分	録画開始前後に、サムネイル（②操作編 47）を作成するまでの時間を設定します。
リピート設定	する / しない	録画した番組を再生するとき、途中で停止したところから再び再生したいときは「する」を選択します。
HDD 省電力	する / しない	消費電力を低減するときは「する」を選択します。
iVDR1 初期化	はい / いいえ	iVDR1 を初期化します。
iVDR2 初期化	はい / いいえ	iVDR2 を初期化します。

### 3 設定が終了したら○または決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 2・3 をくり返す。

### 4 メニュー ボタンを押し、メニューを消す

#### お知らせ

##### HDD 省電力設定について

「する」に設定すると、録画 / 再生をしていないときに、消費電力を低減させることができます。ただし iVDR の起動時間が遅くなることがあります。

##### iVDR1/2 初期化について

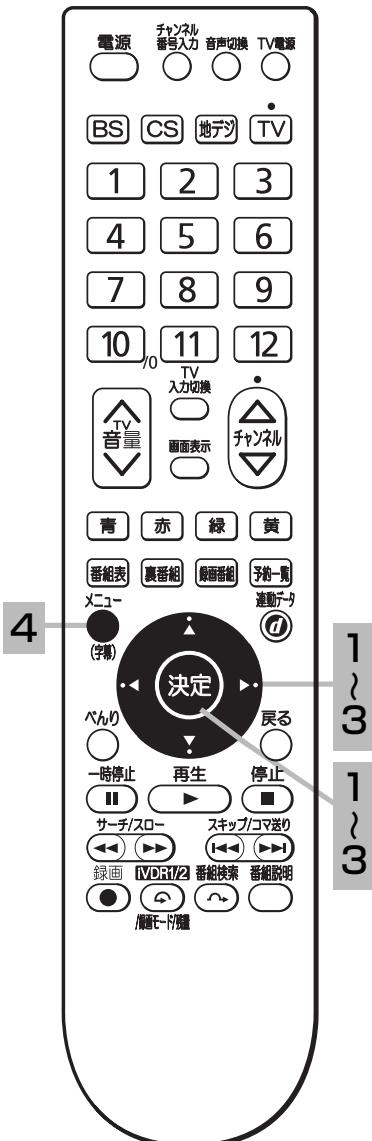
iVDR1/2 の初期化をすると、録画内容が全て消去されます。

- 削除ロックした番組も消去されますのでご注意ください。
- 大切な番組はビデオテープなどに保存してから初期化してください。
- 初期化にはおよそ 30 秒ほど時間がかかります。この間は、iVDR の操作ができません。

# 登録データや受信設定などを初期化したいとき

本機を他人に譲渡したり、廃棄するときは、個人宛のメール、データ放送で登録した個人情報や本機の設定情報を消去してください。

54の操作で「その他設定」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



1 ○で「設定の初期化」を選び、○または決定ボタンを押す

その他	
文字スーパー表示	する
放送時間変更対応	しない
番組表マルチ表示	しない
メール表示	しない
高速起動	しない
緊急放送対応	しない
無操作電源オフ	しない
設定の初期化	しない

④選択 ⑤決定 ⑥戻る

2 ○で初期化する項目を選び、○または決定ボタンを押す

その他	
設定の初期化	
データ放送	
受信メール	
受信設定	

④選択 ⑤決定 ⑥戻る

データ放送	登録されているお客様の個人情報を消去します。
受信メール	お客様宛てに送信されたメールを消去します。 メールの内容によっては消去されない場合があります。
受信設定	各種設定の「初期」に含まれているデジタル放送関連の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

3 ○で「はい」を選び、決定ボタンを押す

その他	
設定の初期化	
データ放送	
受信メール	
受信設定	
データを全て消去します	はい

④選択 ⑤決定 ⑥実行 いいえ

再度確認画面が表示されますので「はい」を選び、決定ボタンを押すと情報が消去されます。

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

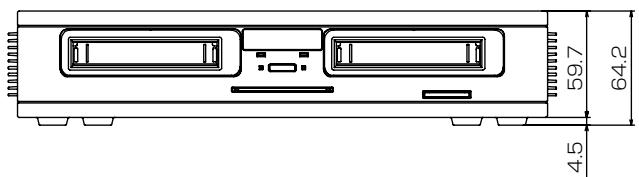
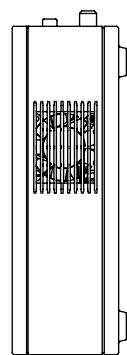
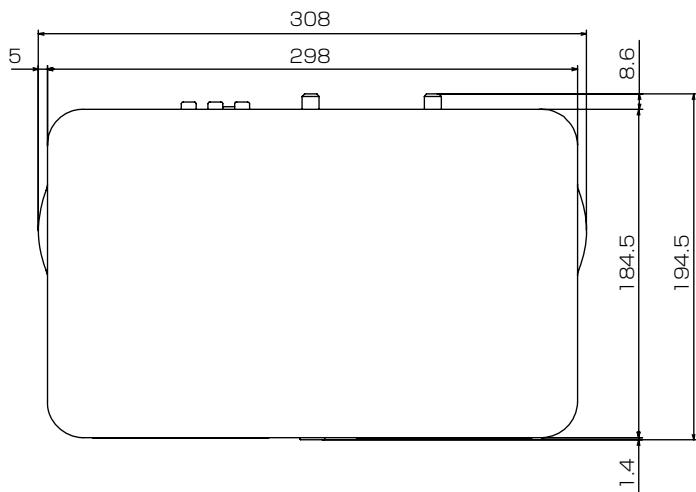
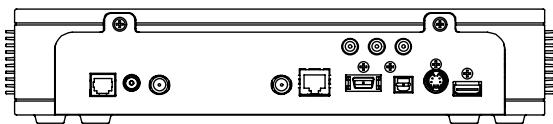
# 仕様

形名	IV-R1000		
電源	DC17V (付属 AC アダプター AC100V 50/60Hz 共用)		
動作保証温度	5 ~ 35°C		
消費電力 (DC)	18W 待機時約 0.5W (高速起動が設定されているとき、ダウンロードや番組情報を受信しているときなどは、約 15W )		
受信チャンネル	地上デジタル 000 ~ 999ch, BS デジタル 000 ~ 999ch, 110 度 CS デジタル 000 ~ 999ch (右旋円偏波)		
端子	映像出力端子 ..... 1 個 音声出力端子(右)(左) ..... 1 個 S2 映像出力端子 ..... 1 個 D1/D2/D3/D4 出力端子 ..... 1 個 HDMI 出力端子 ..... 1 個 DC 入力差込口 ..... 1 個 光デジタル音声出力端子 ..... 1 個 電話回線接続端子 ..... 1 個	地上デジタル入力端子 ..... 1 個 (地上デジタル放送は、CATV パスルー対応) BS/CS-IF 入力端子 ..... 1 個 LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX) ..... 1 個	
外形寸法	幅 30.8 × 高さ 6.4 × 奥行 18.5 (cm)		
質量	1.5kg		
付属品	リモコン送信機 ..... 1 個 単3形乾電池 ..... 2 個 AC アダプター ..... 1 個	取扱説明書 ..... 2 冊 (準備編・操作編 各 1 冊) 他詳細は <a href="#">②</a> を参照してください。	

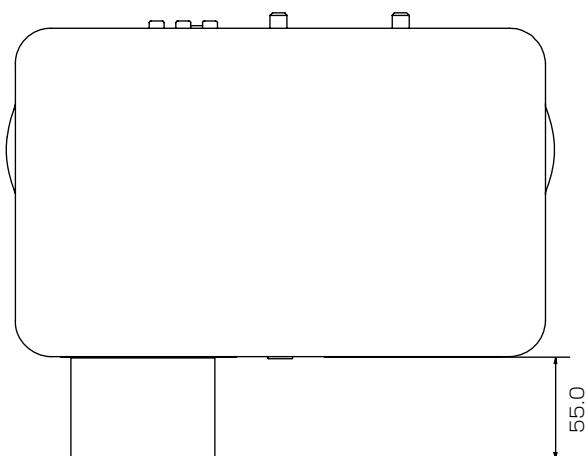
- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。  
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 日本国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料放送契約上禁止されています。  
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値(1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

# 外形寸法について



iVDR挿入時



単位 (mm)

# ソフトウェアのライセンス情報

## IV-R1000 で使われる ソフトウェアのライセンス情報

日立デジタルチューナに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに日立または第三者の著作権が存在します。

日立デジタルチューナには、日立自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、日立の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。

また、日立デジタルチューナは、米国 Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照して下さい。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://av.hitachi.co.jp/tv/support/reference.html>

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書（別紙）をお読みください（日立以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします。）。

当該ソフトウェアモジュールについては、日立以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
Linux Kernel busybox dhcpcd ifupdown net-tools iptables libstdc++5	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
glibc libposixtime	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

# ソフトウェアのライセンス情報

IV-R1000 で使われる

## フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

#### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language.

(Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED

# ソフトウェアのライセンス情報

## IV-R1000 で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）つづき

TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author  
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY;  
for details type `show w'. This is free software, and you are  
welcome to redistribute it under certain conditions; type `show  
c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989  
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

### GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated

# ソフトウェアのライセンス情報

## IV-R1000 で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）つづき

straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is

to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce

a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of

the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in

# ソフトウェアのライセンス情報

## IV-R1000 で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文（英文）つづき

or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

### NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990  
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

# 索引

## 英数字

ADSL	36, 39
B-CAS カード	18, 32
CATV	29, 38
CH 合せ（地域名）	72
CH 合せ（マニュアル）	76
CH スキップ設定	77, 82
F 形接栓	29
HDMI	34
IP アドレス	65
ISP 設定	65
iVDR	41, 86
LAN インターフェース	37
LAN 設定	67
U/V 混合器	28
UHF/VHF アンテナ	28

## あ いうえお

アンテナの接続	28, 30
衛星周波数	83

## か きくけこ

回線種別	58
コンバーター電源	84

## さ しすせそ

サブネットマスク	66
サムネイル作成時間	86
自動判別	58
受信契約	18
受信周波数変更	78
受信設定 (BS・CS)	80
受信設定 (地上デジタル)	72
受信設定変更	83
受信レベル	73, 81
省電力	86
据え付け	25
設定の初期化	88

## た ちつてと

ダウンロード	79, 85
地域名一覧表 (地上デジタル放送)	74
地上デジタル入力端子	28
チャンネルスキップ設定	77, 82
通信速度	68
通信設定	67
通信モード	68
デジタル音声端子付きオーディオ機器	40
デジタル放送	17, 20
デフォルトゲートウェイアドレス	66
電源プラグ	42
電話会社	63
電話回線の接続	36
電話設定 (電話回線)	58
電話番号通知	61
同軸ケーブル	28

## な にぬの

内線発信	60
------	----

## は ひふへほ

光デジタル音声出力	40
付属品	2

## ま みむめも

待ち時間	64
メニュー	54

## や ゆよ

郵便番号	71
優先接続解除	62

## ら りるれろ

リピューム設定	86
リピート設定	86
リモコン	22, 26

メモ



メモ



# 1 準備編

## 日立デジタルチューナー保証書

### 日立 AV 機器保証書

出張修理

HITACHI

形名	IV-R1000	製造番号	製品本体に記載
※ お 客 様	ご芳名 様		
	ご住所〒		
電話 ( )			
※ お買い上げ日		保証期間（お買い上げ日から）	
平成 年 月 日		1年間	

※ 販 売 店	住所・店名
	電話 ( )

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買い上げいただき誠にありがとうございました。  
左記保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容に基づきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの販売店に出張修理をご依頼いただき、修理に際して本書をご提示ください。

#### ●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

#### ●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号をご記入ください。

製造番号は製品本体裏面の定格ラベルをご覧になり、本書に記入してください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外＜例えは業務用等への長時間使用及び車両（車載用を除く）、船舶への搭載＞に使用された場合の故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (ト) 受信不能あるいは故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、下方の「修理などアフターサービスに関するご相談窓口」にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

#### ●修理メモ

---



---

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下方の「修理などアフターサービスに関するご相談窓口」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

**日立家電品のご相談や修理はお買い上げの販売店へ**  
ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

**修理などアフターサービスに関するご相談は**  
エコーバンクへ  
**TEL 0120-3121-68**  
**FAX 0120-3121-87**

(受付時間)  
9:00～19:00 (365日)

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、  
故障かな?と思ったら (②操作編 100～109) も  
ご覧ください。

**商品情報やお取り扱いについてのご相談は**  
**お客様相談センターへ**

**TEL 0120-3121-11**  
**FAX 0120-3121-34**

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日、祝日)  
年末年始は休ませていただきます。  
携帯電話、PHS からもご利用できます。



この取扱説明書、保証書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。  
この取扱説明書、保証書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

株式会社 日立製作所

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

QR74171 ④

TEL(03)4232-5685

Printed in Japan TM-K(S)